

世界の日本語教育は今

5カ国の日本語教育事情座談会 in シドニー

2009年7月、シドニーで、日本語教育国際研究大会が開催されました。世界各地の日本語教師が一堂に会し、最新情報を交換したり、研究発表などを行う場です。その国際大会のスケジュールに合わせて、主要5カ国の日本語教育学会を代表する方々に、各国の日本語教育事情について討論いただきました。

文〇編集部 写真〇渡邊美穂





オーストラリア

人口：約2,000万人 公用語：英語
 首都：キャンベラ 主な宗教：キリスト教など
 日本語学習者数：36万6,165人
 日本語教師数：2,935人
 日本語教育機関数：1,692機関

学習者の97%が、初等・中等教育課程で第二外国語として学んでいる児童・生徒である。一般を対象にした日本語教育は、語学学校のコースとして設置されていたり、地域のコミュニティー・カレッジなどで講座が開かれている。



モナシュ大学教授
ロビン・スペンス・ブラウンさん

1981年よりモナシュ大学にて日本語、日本語教授法、第二言語習得を学部および大学院で教えている。初等中等教育にも興味を持ち、高校の統一試験委員会、カリキュラム委員会などのメンバーを務めてきた。

ニーズの変化—ビジネスからポップカルチャーへ

佐々木 本日は、ご参加ありがとうございます。こうして世界の日本語教育学会を代表する方々が一堂に会する機会は減多にありません。『月刊日本語』を通じて、日本語教育関係者に皆さんの声をお伝えできればと思います。

最初の質問ですが、最近の日本語学習者の傾向について、それぞれの国の事情をお聞かせくださいますか。

ラリアでは小学校での日本語教育が盛んです。中学校になると若干減りますが、全体で約三十七万人の学習者がいて、外国語教育の中で第一位です。

大学では、就職のために日本語を学ぶ人が減っている一方、日本のポップカルチャーへの関心から日本語を学ぶ人が増えています。特に下のレベルでは、日本語を選択する学生の多くが留学生であることも、特徴の一つと言えます。オーストラリア人は、高校で日本語を学んでくるため、中級レベルから入ることが多いです。オーストラリア

アは英語圏の国ですが、日本語を学ぶ学生の母語は多様で、私のクラスでは、学生の六五%が中国語母語話者という状況です。

佐々木 それは面白いですね。オーストラリア人の先生が、中国人や韓国人に日本語を教えているわけですね。

邱 台湾の場合は、主に高等学校から日本語教育が始まりますが、一般の高校と日本という職業学校に分かれています。大学も、総合大学と技術職系の大学に分かれていて、それぞれ外国語科目として日本語を学習しています。

職業学校や技術職系の大学では、卒業後に働く現場に即した専門的な日本語教育を行うおとしていますが、まだ一般的な日本語教育のレベルに留まっていることが課題です。

佐々木 いわゆるビジネス日本語のようなものを目指しているのですか？

邱 ITなど、もう少し専門的な日本語です。ビジネス日本語は、日本のバブル崩壊以降、ニーズが落ちてきています。現在は、オーストラリアと同じく、ポップカルチャーに興味を持って、日本語学習を始める人が多いですね。

李 韓国の日本語学習者は、約九〇万人といわれており、国別では世界最大

です。学校教育の中では、中学・高校で選択の第二外国語として行われています。現在の中高生は、日本文化が解放されて以降、マンガ・アニメ・ゲームなどに親しんでおり、日本語を選択する生徒がかなりいます。ただ、仮名の読み書きや簡単な会話レベルで満足してしまい、大学で専門的に学ぼうという人は、それほど増えていません。修 中国には約六八万人の学習者がおり、これは韓国に次ぐ規模ですが、大学レベルの高等教育機関で学ぶ人が、四〇万人以上いることが特徴です。

学習動機では、趣味として学ぶ人、仕事のために学ぶ人、日本語・日本文化を研究するために学ぶ人の三タイプに分かれますが、やはりポップカルチャーから日本語に関心を持つ人が増えています。

佐々木 昔は日本文化を研究するために日本語を学ぶ人が多かったのですが、その後、日本経済が発展した時期には仕事のために学ぶ人が増え、現在はポップカルチャーに興味を持って、趣味として学ぶ人が増えているのは、各国に共通している事情のようですね。修 そうですね。ただ、中国と日本のビジネス関係は、これから発展する

でしょう。実際、中国では各大学でビジネス日本語コースを作っていて、ちょっとしたブームといえる状況です。最近、ビジネス日本語教育学会という学会ができたくらいです。また、アニメやゲームを仕事にしたい人たちが、日本語を学ぶケースも増えています。

李 韓国人にとっては、言語構造が類似していて学びやすいという印象があるため、大学で第二外国語として日本語を選択する学生が多かったのですが、グローバル化の影響で、英語教育に力を入れている状況があります。各大学は、TOEICである程度の点数を取らなければ卒業できないという、英語認証制度を採用しています。

もう一つ、大学における新しい動きとして、サイバー大学があります。韓国で日本語を学ぶ学生がいちばん多い大学は、実は、放送通信大学なんです。放送通信大学の日本語学科には、一年に二万五千人の学生がいます。

佐々木 それは多いですね！

李 ただ、卒業は非常に難しく、二万五千人の内、実際に卒業できるのは百五十人くらいです。

佐々木 学習を継続できるような工夫が必要ですね。

李 ええ。その放送通信大学と、オルタナティブとして登場したのが、サイバー大学です。現在、五校くらいの大行で学行われています。平均すると一年に二、三百人くらいの学生がいます。韓国は、ITが浸透していますので、今後増えていく可能性があります。

ブラウン その中には、海外にいる学生も入っているのですか？

李 いいえ。まだ、国内だけです。

佐々木 試験はどのように行われるのですか？

李 そこが課題なんです。放送通信大学の場合は、年に数回スクーリングがあり、そこでペーパーテストを行っていますが、サイバー大学では、今のところオンラインの授業やテストを行っています。オンラインのテストでは、学生の本当の実力を測れるのかどうか、信頼性に問題があります。

佐々木 これからの課題ですね。いいシステムができれば、全世界で同じレベルの日本語教育を受けることができるわけですから、日本でも開発を考えるべきでしょう。

脱・文型シラバスへ さまざまな取り組み

佐々木 次は、教科書やシラバス、教授法について伺いたいと思います。

日本でも最も使用されている『みんなの日本語』という教科書は、文型シラバスになっています。最近、場面シラバスやトピックシラバスの教科書も出てきていますが、日本語教育において、文型の重要性について、どのような考えをお持ちですか？

修 大学の場合、第二外国語としての日本語教育では、やはり文型・文法が中心です。日本語専攻では、文型だけでなく、場面シラバスなどをミックス

して、よりコミュニケーションな教授法が取られています。教科書は文型シラバスなのですが、教師自身が工夫しているという状況です。私個人としては、初級段階では、ある程度、文型を積み上げていくスタイルが有効なのではないかと考えています。

邱 それぞれのシラバスに長所と短所があると思いますが、これまで多くの学生を見てきて、相当な学習時間を経ても、実際に日本語を使用してさまざまな活動ができるまでに至らないのは、文型・文法偏重の教育に問題があ



中国

人口：約13億人 公用語：中国語 首都：北京

主な宗教：仏教、キリスト教、イスラム教など

日本語学習者数：68万4,336人

日本語教師数：1万2,907人

日本語教育機関数：1,544機関

初等・中等教育機関での学習者数は減っているが、高等教育機関や学校教育以外での学習者が増えている。大学などでは、第二外国語として選択する人がいる。中国の学習者は中上級レベルの人が多い。一般向けの日本語クラスや、テレビ・ラジオ講座などもある。



天津外国語学院学長
修剛さん

中国日語教学研究会会長、中国翻訳協会副会長などを務める。中国における日本語教育・研究の第一線でリーダーシップを発揮。天津外国語学院は1964年創立で、言語訓練プログラムや海外についての研究活動などで多大な成功を収めている。

台湾

人口：約2,300万人 公用語：中国語
 首都：台北 主な宗教：仏教、キリスト教など
 日本語学習者数：19万1,367人
 日本語教師数：2,791人
 日本語教育機関数：513機関

日本語は英語に次いで学習者の多い外国語である。最も学習者が多いのは、高等教育機関で約11万8,500人、続いて、中等教育機関で約5万8,200人となっている。日本語能力試験の受験者数も2007年は約5万6,000人ほど。



高雄第一科技大学教授
 邱榮金さん

台湾日本語文学会理事長。翻訳・通訳教育専攻。公務員・外交官・実業界などの幅広い経験から実践的な日本語教育をもって人材育成に取り組む。著書に『日中翻訳教育における理論と実践』（台湾・致良出版）。

るのではないかと感じています。単文レベルの日本語の理解・運用はできるようになりますが、より長く、複雑な日本語を理解・運用ができるようになるためには、工夫が必要です。基礎から応用に進むための、より良い方法を考えなくてはならないでしょう。

佐々木 単純に会話練習を増やせばいい、ということではないですね。

教科書に関していうと、台湾では、日本で出版されたものの台湾版がほとんどで、中国のように国家プロジェクトで大々的に教材を開発するというのとは、とても羨ましいですね。台湾独自の新しい日本語の教科書を、ぜひ、作りたいと思っています。

李 韓国の場合、中学・高校は、国による検定教科書が作られています。ほとんど場面シラバスが中心になっています。大学も、文型から場面に移行しつつあるという状況です。

韓国は、学習者数が多いだけではな

く、上級レベルの学習者の数も、世界で一番だと思っています。日本語能力試験の一級を持っている人が、たくさんいます。しかし、一級を持っていることと、日本語でどの程度言語活動ができるかということは、また別なんです。ですから、上級レベルの教材の開発が、現在の課題といえるでしょう。

佐々木 上級になると、専門化してきますから、難しいですね。オーストラリアでは、いかがですか？

ブラウン 文型シラバスは、オースト

ラリアでは、全く通用しません(笑)。か

といって、文法を無視するわけにもいきませんから、場面シラバスやトピックスシラバスで教えますが、その裏には文法シラバスがある、というスタイルです。一つの問題は、小学校では場面シラバス・トピックシラバス中心で、文法知識がほとんどないために、中学校以降の学習で支障をきたすことです。

また、最近はやっているのは、タスクシラバスで、日本語を使いながら、課題を解決するというものです。

佐々木 学習者参加型ですね。

ブラウン そうです。プロジェクトを持って、何かを調べて、それを発表する、というような活動です。

内容重視(content based)シラバスも注目されています。いくつかの小・中学校ではイメージングプログラムが行われています。日本語だけで教科学習を行うものです。言語への依存度が低い教科、例えば、美術、体育、算数などで行われることが多いです。

大学では、初級・中級では、主に英語圏向けの市販の日本語教科書が使われていますが、文法については、いわゆるフォーカス・オン・フォーム(Focus on Form)で、意味伝達に重点を置きながら、必要に応じて形式に注意を向けるという方法を取っています。上級では、日本研究を日本語で行うという、内容重視シラバスを取り入れる所が増えていきます。例えば、私の学校では、日本のポップカルチャーについて日本語で講義を受けたり、文献を読んだり、レポートを書いたりするというプログラムがあります。

新しい日本事情教育の構築へ向けて

修 大学の日本語学科では、日本事情(中国では「日本概況」と呼ばれます)が、必修となっている所がほとんどです。日本の社会・文化・歴史・地理・

政治について、概説的な内容を学びますが、現在の日本についての情報が、やや不足していると感じますね。

佐々木 修さんがリーダーとして進めていらっしゃる国家プロジェクトの環境で、私が書いた日本事情の教材が出版される予定ですが、その中には新しい情報をたくさん入れています。

修 はい、とても期待しています(笑)。

佐々木 DVDなど、映像で現在の日本人の生活を紹介するというのも、いいのではないかと思います。ステレオタイプ化されないように、普通の日本を見てほしいですね。

李 日本事情は、確かに必要だと思うのですが、どの程度の内容が必要なのか、基準がありませんね。

佐々木 私が目指す日本事情では、概説書を見れば書いてあるような、上っ面の知識を学ぶのではなく、自分で考えて、掘り下げられるテーマを選ぶことが重要だと考えています。

例えば、インスタントラーメンは日本の発明品だけでも、調べると、最も消費しているのは韓国で、最も生産しているのは中国なんです。宇宙食にもなっている。ただ単純に「日本文化の代表である」で終わってしまうので

はなく、さまざまな切り口で調査をしたり、ディスカッションしたり、自分で考えることが大切です。

邱 佐々木先生の作られる教材には、私も期待しています。日本事情教育が確立されれば、ポップカルチャーを通しての興味本位の、表層的な理解ではなく、もっと深いレベルでの理解が進み、台湾における日本研究も発展することだと思います。

佐々木 ポップカルチャーが、日本の一つの側面を表現していることは確かですが、北野武の映画を観て、日本があんなに暴力的な国だと思われても、困ってしまいます(笑)。

ブラウン オーストラリアでは、知識として日本事情を学ぶというよりは、言葉と結び付いた社会文化的背景を学ぶ教育が一般的です。

また、小・中学校での外国語教育は、目標言語の習得だけでなく、教育という広い文脈で考えると、子どものころから異文化に対する理解力や寛容さを身に付けるといって、隠れたカリキュラムがあるんです。

佐々木 多文化主義の国・オーストラリアならではの、言葉と文化を結び付けた教育がなされているんですね。

韓国

人口：約4,800万人 公用語：韓国語
首都：ソウル 主な宗教：仏教、キリスト教など
日本語学習者数：91万957人
日本語教師数：7,432人
日本語教育機関数：3,579機関

日本語学習者数は世界一。初等・中等教育での学習者が占める割合が、84.4%である。一般向けは、学院と呼ばれる民間の教育機関が多数ある。書店では、韓国で作られたテキストや教材がいろいろ



漢陽大学教授
李康民さん

1986年に京都大学に留学、日本語の歴史を勉強し、1995年から漢陽大学の学部と大学院で日本語学を教えている。今回のICJLEには、韓国日本学会を代表し韓国の日本語教育の現況を報告するために来豪した。

協調性、異文化理解能力の高い日本語教師を

佐々木 次の質問ですが、日本語教師に望まれる資質はどのようなものか、お考えを聞かせてください。

邱 効果的に日本語を学ぶには、ネイティブ教師とノンネイティブ教師の協働が大切になってきます。協調性があること、異文化理解能力のあることが望まれます。学問的な知識に関しては、ほとんどの人が大卒以上の学歴を持っていて、修士号、博士号を持って

いる人もかなりいますから、問題ないだろうと思いますが、逆に、自分が学んできた教え方に閉じこもってしまう教師が増えていると感じます。隣の教室ではどんな授業が行われているか、全く興味を持たない。横のつながりを大切に、学習者に関する情報交換を密にして、お互いに切磋琢磨できるような教師が、いい教師だと考えます。

佐々木 協調性がキーワードになりますね。学習者のポートフォリオをつくるって、教師同士が情報を共有できるような工夫も大切だと思います。

日本

人口：1億2,700万人 公用語：日本語
 首都：東京 主な宗教：仏教、キリスト教など
 日本語学習者数：16万6,631人
 日本語教師数：3万959人
 日本語教育機関数：1,779機関

日本語教育機関は、一般の施設・団体が1,182(66.4%)で最も多い。続いて、大学、短期大学、高等専門学校、大学院の順になっている。一般の施設・団体は、日本語学校のほか、国際交流協会や地域のボランティア日本語教室などがある。



武蔵野大学教授
佐々木瑞枝さん

エコールプランタン日本語教師養成講座講師、日本語ジェンダー学会会長。日本語教育の実践派として知られ、『外国語としての日本語』(講談社)、『日本語教育の教室から』(大修館)など著書多数。

修 私も、日本人教師にせよ、中国人教師にせよ、必ず持っていなければならぬのは、異文化間コミュニケーション能力だと思っています。

ネイティブ教師とノンネイティブ教師のチームワークも大切です。これまでは、初級は中国人教師が文法を教えて、中級以降は日本人教師が会話を教えるという役割分担が行われていましたが、現在は初級から上級まで、中国人教師と日本人教師がコンビで教えるほうが効果的であると考えています。

例えば、作文の授業でも、中国人教

師には間違っているかどうかの判断が難しい文章も、日本人教師であればすぐに判断できる。しかし、なぜそのような誤用が起こったのかは、中国語ネイティブでないと理解できないんです。ネイティブとノンネイティブが、お互いの不足している部分を補い合うことが、協働の大きなメリットです。

佐々木 そうですね。初級段階の化石化を予防するためにも、ネイティブ教師が入ったほうがいいと思います。

李 韓国でも、かつては日本人教師は各大学に一人くらいだったのですが、

現在は最低でも三、四人は採用しており、ネイティブ教師の重要性を強く認識しています。ただ、韓国の大学では、外国人教師の場合、多くは二、三年ごとの契約で採用されます。不安定な身分であるため、優秀な教師が集まりにくい、カリキュラム開発など長期的な仕事にかかわれない、などの問題があり、雇用条件の改善が課題ですね。

それから、韓国では、授業外のコミュニケーションを学生が強く求める傾向がありますので、一緒にお酒を飲んだり、カラオケに行ったり、そういうことが苦にならないというのも、意外と重要な資質かもしれません。

佐々木 学生の心を理解して、学生と共に何かできるというのは、いい教師の条件の一つですね。

ブラウン 日本のことをよく理解していて、学生のこともよく理解している教師が理想です。特に、オーストラリアの教育制度に基づく特有の学習文化、授業のスタイルを理解していないと、なかなかうまくいきませんね。

これからの日本語教育に望むこと

佐々木 最後に、これからの日本語教

育に望むことを、一言でお願いします。

邱 日本語を学ぶ上で日本のことを知るの大切ですが、自分の国、台湾についてもしっかりとした知識を持つて、相互理解のための日本語学習を行ってほしいと思っています。

ブラウン テクノロジーの進歩に合わせて、日本語教育の在り方も変わっていくでしょう。私の大学の学生が最も日本語を使っている場面を調査したところ、ウェブ上での日本人とのコミュニケーションがいちばん多かったんです。ネット時代の日本語教育の構築を考える時代が来ていると思います。

修 個性のある日本語教育の必要性を強調したいですね。世界共通のルールづくりも大切ですが、各地域の事情に対応した、個別の日本語教育を構築することを考えるべきだと思います。

李 三人がおっしゃったこと、すべて重要だと思います。我々の時代に比べて、日本語教育は、本当に多様化、複雑化してきました。さまざまなニーズに応えられる、マルチプレーヤー的な日本語教師を育てなければなりません。

佐々木 貴重なご意見をありがとうございます。これからの日本語教育を盛り上げていきましょう！